

赤磐市立軽部小学校 学校便り

# 軽部っ子

～美しい学校づくり  
に向けて～

4月号

平成29年4月吉日

<http://karube-es.city.akaiwa.okayama.jp>

## 平成29年度が スタートしました!



明るい春の日差しの中、それぞれ1学年ずつ大きくなった子どもたちが軽部小学校に帰って来ました。



今回の「軽部っ子」では、本校の新体制を簡単にお知らせします。

### 平成29年度児童数(4月1日現在)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男	5	2	6	5	4	5	27
女	4	5	5	7	2	3	26
計	9	7	11	12	6	8	53

### 平成28年度本校職員

校長	藤原清志	3年担任	小山淳志	養護	平瀬加那	校務	三浦かずみ
教頭	服部真典	4年担任	金井朝子	事務	肥塚敏弘	特別講師	佐份利祐子
1年担任	池内仁美	5年担任	草加陽介	専科	西井久恵	司書	時長由佳
2年担任	福田裕子	6年担任	綱嶋 茂	専科	平賀律子	ALT	Natasya Wilson

#### ☆4名の新しい教職員を迎えました。

教諭	綱嶋 茂	(吉備中央町立円城小学校より)
校務員	三浦かずみ	(赤磐市立山陽西小学校より)
学校図書館司書	時長 由佳	(赤磐市立磐梨小学校より)
専科	平賀 律子	(一昨年度、軽部小で勤務されていました)

本年度は、このメンバーで“美しい”学校づくりをめざしたいと思います。  
昨年度同様どうぞよろしくお願いいたします。

#### ★4名の教職員が本校を去って行かれました。

教諭	吉田 真司	(玉野市立大崎小学校へ)
校務員	森 佳奈子	(赤磐市立笹岡小学校へ)
学校図書館司書	山口 晃奈	(赤磐市立仁美・笹岡小学校へ)
専科	岩藤登嗣子	(退職)

#### ★大変お世話になりました★



# 美しい軽部小学校づくりの完成形に向けて

赤磐市立軽部小学校  
校長 藤原清志

平成29年度が、始まりました。昨年度5名の6年生を送り出し、本年度9名の1年生を迎え（2名の転出者・1名の転入者がありました。）、53名での「軽部丸」のスタートとなりました。

本年度も「明るく学び、笑顔のあふれる美しい軽部小学校」を基本コンセプトとして、「自主自立、豊かな心でたくましく」という学校教育目標に向けて「美しい環境づくり」と「美しい心づくり」の2本の柱から進めてまいります。この「美しい学校づくり」を掲げて、3年目という節目の年になります。形として表れるように努力したいと思っておりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## 「美しい環境づくり」

「美しい環境」とは、もちろん見た目の美しさもあります。汚れたり壊れたりしている環境では、落ち着いた心で学習や運動に取り組む意欲は持ちにくいと考えます。そして、大切なのは、「美しい環境」を作り維持するために、よく見なければならぬということです。よく環境を観察することで、潜在しているリスクに早期に気づき、回避することができます。また、学習に必要な施設や設備に不具合がある場合、早い段階で対処し、準備することができます。つまり、「美しい環境づくり」の目的は、子どもたちに安全で安心な環境、効果的に学習できる環境の提供にあるのです。結果として、見た目にも美しい環境となっていると言えます。

## 「美しい心づくり」

「美しい心」には、様々な側面があります。本校では、その中から「わかった」「やった」「ありがとう」の3つをキーワードとして焦点化して取り組みます。

「わかった」とは、文字通り、学習が分かることです。学校という場で、最も追求すべきことは、子どもたちにたくさんの「わかった」を与えることだと思います。

一つの「わかった」が「やった」を生みます。今までできなかったことや知らなかったことができたり知ったりすることによって、「やった」という喜びが生まれます。

「わかった」や「やった」を支えるものが「ありがとう」です。たくさんの人の支えの中で自分があること。決して自分の力だけではないことに気づき、支え合って生きることが学び、実感することで、「わかった」「やった」がより円滑に進んでほしいと思っています。

「わかった」「やった」「ありがとう」の取組を進める上で大切なことは、実際の生活の場で活用する（できる）ことだと思います。実際の活用場面では、「できた」だけでなく「できなかった」経験が大切であり、その経験は大きなチャンスであると考えます。うまくいかなかった原因を考え、次はこうしようと考えることで、「知識」が「知恵」となり、身についた「わかった」「やった」「ありがとう」になると考えます。

このような「美しい軽部小学校づくり」のためには、家庭や地域の方のご協力が不可欠です。本年度も引き続き、様々な場面でご協力を仰ぐようになると思います。その節にはよろしくお願いいたします。